

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA

**ALPHARD
VELLFIRE
ALPHARD HYBRID
VELLFIRE HYBRID**

専用シートカバー取付説明書

1518/1519/1522/1523/1653



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

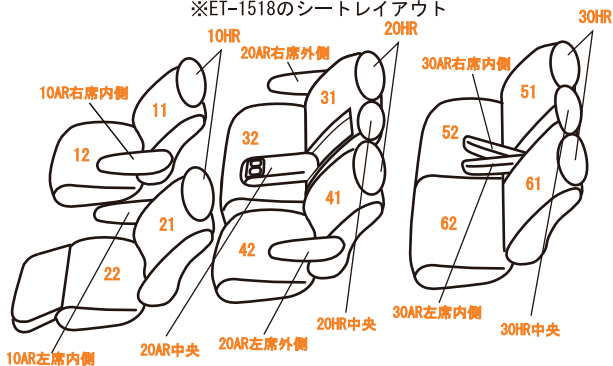
※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

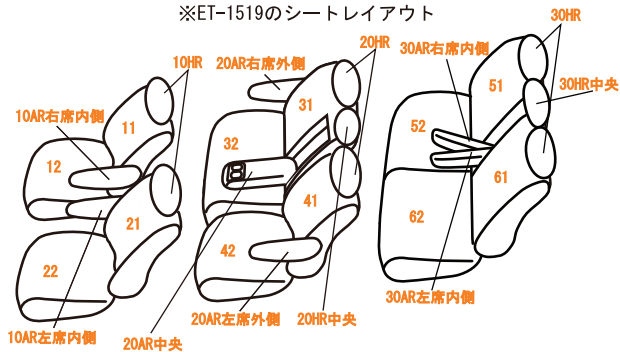
シートカバー装着前の注意事項	→ 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	→ 3P～4P
1 列目座面(電動)の装着方法	→ 5P～8P
1 列目座面(手動)の装着方法	→ 9P～11P
1 列目背もたれの装着方法	→ 11P～14P
2 列目座面の装着方法	→ 15P～19P
2 列目背もたれ・中央アームレストの装着方法	→ 20P～24P
3 列目座面の装着方法	→ 25P～26P
3 列目背もたれの装着方法	→ 27P～28P
ヘッドレストの装着方法	→ 29P～31P
アームレストの装着方法	→ 31P～32P
完成図	→ 32P
コンビニフックの加工方法	→ 33P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	→ 34P～35P

本製品シート形状とパーツの名称

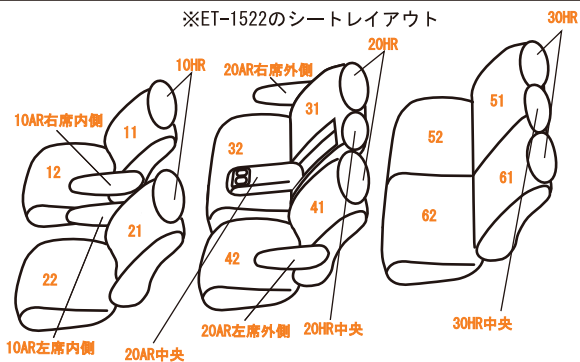
※ET-1518のシートレイアウト



※ET-1519のシートレイアウト

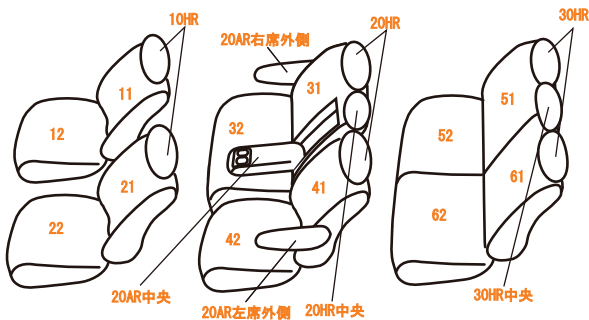


※ET-1522のシートレイアウト

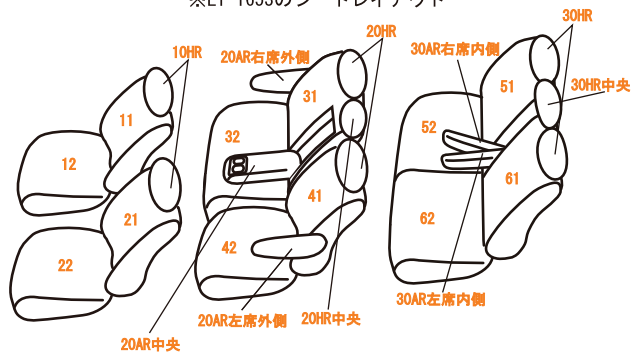


本製品シート形状とパーツの名称

※ET-1523のシートレイアウト



※ET-1653のシートレイアウト



取付必要工具



① ソケットレンチセット (12mm / 14mm)

※ソケット12mmは3列目アームレスト装備車のみで、
長めのソケットが必要

② プラスドライバー

③ クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

この商品では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3P ▶

- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



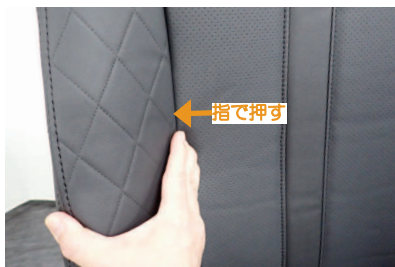
- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。

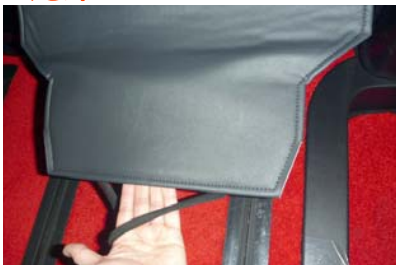


- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…➤ 1列目座面(電動)の装着方法

※フロント手動シートの車は9ページからご覧下さい。



- 1** 図は2列目エグゼクティブシートのフロント座面シートを使用しています。始めにシート背面からシート裏に回っている生地を、図のように外します。生地はゴムでシート裏に引っ掛けて固定されています。



- 2** 1番の生地をめくり上げた内側に、シート裏で黄色のサイドエアバッグの配線がマジックテープで固定されています。マジックテープを外して、配線を外側の端へ寄せておきます。



- 3** シートを一番高い位置まで上げてカバーの装着を行います。カバーを図の様に裏返して、シートのラインに合わせます。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 5** 配線部分に注意して、入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 6** シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7** カバー前側に付いているベルトを、シートとプラスチック部の隙間を通してシート裏から引き出します。



- 10** シートの内側も生地をプラスチック部に入れ込みます。



- 8** シートとプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。生地が入り込みにくい部分はヘラなどを使用して入れ込んで下さい。



- 11** 7番で引き出したベルトをシートの裏を通してシート背面側へ入れ込みます。この際シート裏にある配線や、金属部品の上にベルトを通すようにします。



- 9** シート付け根の外側部分は隙間が大変狭くなっています。生地をプラスチック内側の矢印の方向へ向けて入れ込むことで、生地がきれいに入り込みます。



- 12** シートの背面からベルトを引き出します。引き出したベルトを5ページ**5番**で引き出した生地についているバックルに通して固定します。
※バックルの通し方は7ページ**13番**をご覧ください。



- 13** ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがありますので、ご注意ください。



- 14** シート背面側は図のようになります。



- 15** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
※シートを一番高い位置から下へ下げる際に、側面の生地が浮いてくる場合があります。その際はへらなどを使用して、浮いた生地を奥へ入れ込み馴染ませるようにして下さい。

助手席座面の装着方法



- 1** 5ページ1番2番と同様に生地をめくり上げて、サイドエアバッグの配線を端に寄せます。オットマンを一番上まで上げた状態でカバーの装着を行います。カバーをオットマンの先端からシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3** 配線部分に注意してシート背面から生地を引き出します。引き出した生地を直接シートに貼り付けて固定します。



- 4 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部のフチに入れ込みます。



- 7 フックを固定すると図のようになります。オットマン下周りの生地を内側へ巻き込むように整えます。



- 5 カバー内側面の生地をシートとプラスチック部のフチからさらに奥へ入れ込みます。シートのクッションを浮かしてフチの中を覗いてみると、矢印位置に突起している部分があります。その奥へ生地の手入れ込み固定します。



- 8 カバー前側の生地をシートのラインに合わせて、シートとプラスチック部のフチに入れ込みます。



- 6 オットマンの付け根辺りに付いているフックを、生地と共に180度向きを変えて、オットマン付け根のフチにはめ込み固定します。オットマン内側のフックも同様に固定します。



- 9 カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

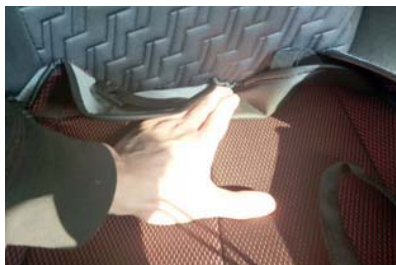
Step 1

…> 1 列目座面 (手動) の装着方法

※図は主にガソリン車の画像を使用しています。



- 1** 始めにシート背面からシート裏に回っている生地を、図のように外します。生地はゴムでシート裏に引っ掛けて固定されています。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 2** 1番の生地をめくり上げた内側に、シート裏で黄色のサイドエアバッグの配線がマジックテープで固定されています。マジックテープを外して、配線を外側の端へ寄せておきます。



- 5** 配線部分に注意して、入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 3** シートを一番高い位置まで上げてカバーの装着を行います。カバーを図のように裏返して、シートのラインに合わせます。



- 6** シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



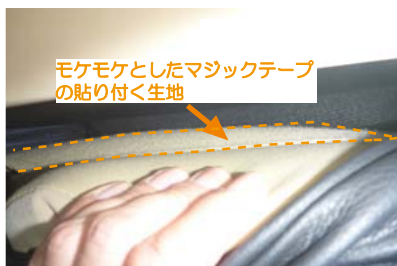
- 7** カバー前側に付いているベルトを、スライドラバーの上を通してシートの背面側から引き出せるように入れ込みます。



- 10 ガソリン車**はシートの内側も、シートとプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



- 8** シートとプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。生地が入り込みにくい部分はヘラなどを使用して入れ込んで下さい。



- 11 ハイブリッド車**はシート内側のシート地に、カバーのマジックテープを直接貼り付けて固定します。



- 9** シート外側の付け根部分は隙間が大変狭くなっています。生地をプラスチック内側の矢印の方向へ向けて入れ込むことで、生地がきれいに入り込みます。



- 12** 7番で入れ込んだベルトをシートの背面から引き出します。引き出したベルトを5ページ5番で引き出した生地に付いているバックルに通して固定します。
※バックルの通し方は11ページ13番をご覧ください。



Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 13 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがありますので、ご注意ください。



- 14 シート背面側は図のようになります。



- 15 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席は一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



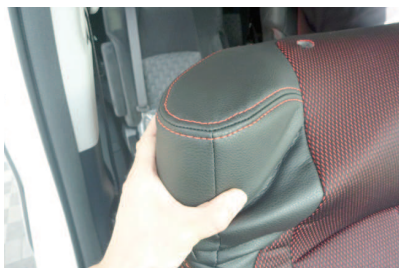
- 1 1列目アームレスト装備車は、アームレストを外します。始めにヘラなどを使用して図のブラキャップを外します。
※アームレスト未装備車は4番からご覧下さい。



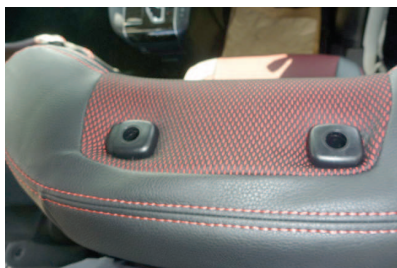
- 2 アームレストを固定しているボルトを、ソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。



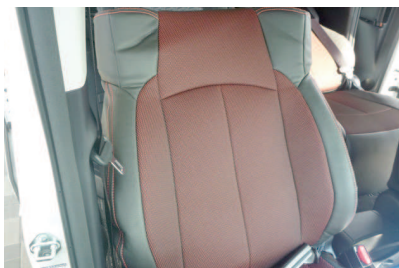
- 3 ボルトを外すと図のようにアームレストが外れます。



- 4 カバーをかぶせます。始めにシート肩口に生地がしっかりと馴染むように、シートに密着させていきます。



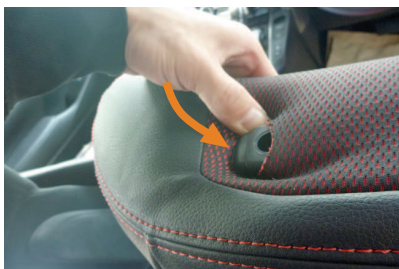
- 7 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



- 5 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 8 シートの付け根部分に生地を入れ込みます。



- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。

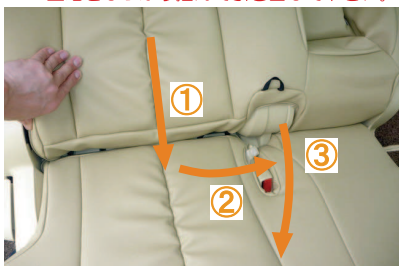


- 9 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックでシート地・カバーの生地を傷付けないようにご注意ください。



- 10 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。

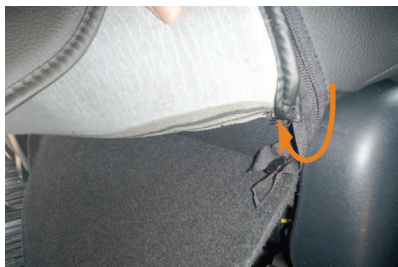
※この際、フック部分を掴んで強く引き出すと、縫製系が切れる、また生地が破れる恐れがあります。ある程度引き出した後は、生地をしっかりと掴んで引き出して下さい。



- 11 カバー側面の生地を①→②→③の順番にシート中央へ集めるようにして馴染ませていきます。中央に集まった生地を10番と同様にシートの背面から引き出します。生地がシートに馴染むまで繰り返し行って下さい。
※図は2列目背もたれを使用しています。



- 12 側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 13 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



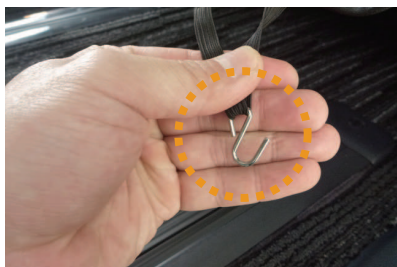
- 14 10番で引き出した生地に付いているフックを固定します。シート背面下の図の点線部分にフックを引っ掛けて固定します。



- 15 まず端側のプラスチック部にフックを引っ掛けます。こちらは引っ掛かる幅が1センチ程しかないので、しっかりと端に寄せます。



- 16 次に中央側の幅の広いプラスチック部にフックを引っ掛けます。



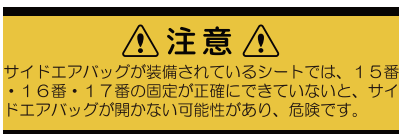
- 19 カバーの背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



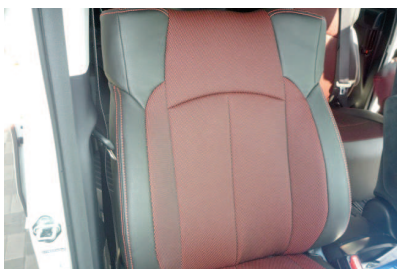
- 17 2本のフックを引っ掛けると図のようになります。フックは15番のプラスチック部側へ寄せるようにして下さい。



- 20 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。シート背面下は図のようになります。



- 18 5ページ1番（電動シート）、9ページ1番（手動シート）で外した生地を元通りに固定します。



- 21 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様にに取り付けます。

Step 3

…> 2列目座面の装着方法

始めに2列目座面・背もたれカバーを装着する際に、外す必要のあるものを、全て外しておきます。



- 1** 図のシートベルトバックルの固定を外します。



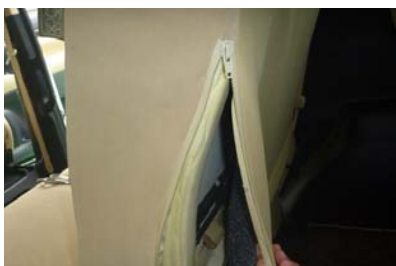
- 4** 生地をめくるとアームレストをシート裏で固定しているナットが2本見えます。



- 2** 中央のアームレストを外します。シート内側のファスナーの端を、シートの軸部分から取り出します。



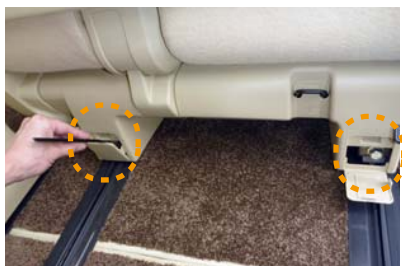
- 5** 生地をめくった隙間からソケットレンチなどを使用してナットを外します。ソケットは12mmを使用します。



- 3** ファスナーを開けます。



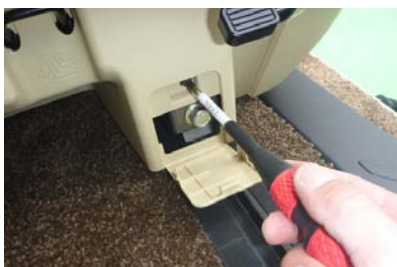
- 6** 2本のナットを外すと中央のアームレストが図のように外れます。シート外側に付いているアームレストは11ページ1番～3番を参考に外して下さい。



- 7** 中央のシートベルトの固定を外します。シート背面のレール上にある図のプラスチックのフタを、上側の隙間にヘラなどを差し込み開けます。



- 8** 7番で開けたフタ部分2か所と、その間にある図の矢印部分のネジを外します。



- 9** 4か所のネジをドライバーを使用して外します。



- 10** シート土台部分のプラスチック枠を軽く手前に引きます。ツメが外れてシートとの固定が外れます。
※まだチャイルドシート固定用アンカー部分が外れるようになっていないので、完全に外してしまわないように、ご注意ください。



- 11** チャイルドシート固定用アンカーの周りのプラスチックの枠を外します。隙間にヘラなどを差し込み、慎重にプラスチックの枠を手前に引くようにして外します。



- 12** 図のようにチャイルドシート固定用アンカー周りのプラスチックの枠を外します。



- 13** シート背面のプラスチックの枠を、チャイルドシート固定用アンカーをかわしながらシートから慎重に外します。



- 16** シートの前側からボルトで固定されていた部分を引き出します。図のシートベルトが通っているゴムからも抜き出します。



- 14** プラスチックの枠を外すとシートベルトを固定しているボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します



- 17** 座面カバーの装着を行います。始めにシート内側面の形状に沿って生地が張るようにしっかりとかぶせます。点線部分のシートのラインとカバーのラインをしっかりと合わせます。



- 15** ボルトを外すと図のようにシートベルトの固定が外れます。



- 18** 内側面を基点としてシートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 19** カバーをシート全体にかぶせて、シートのラインに合わせるように整えます。



- 22** シートベルトバックル収納部分のフチに生地を入れ込みます。



- 20** シートを跳ね上げて背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。この際生地は**シート背面へ入れ込むのではなく、24番**のように、シート前側のシート裏から引き出せるように入れ込みます。



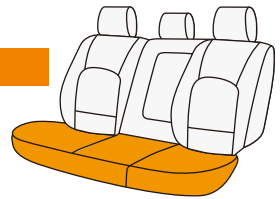
- 23** シート付け根のくぼんだ形状に生地を馴染ませるように整えて、シートとプラスチック部の隙間に生地を入れ込みます。



- 21** 中央アームレスト下部分の生地も、**20番**同様にシート裏へ生地を入れ込みます。またシートベルトバックルのある辺りの生地の端に、マジックテープが付いています。こちらも同様にシート裏へ入れ込みます。



- 24** シートを跳ね上げてシートの裏側から**20番21番**で入れ込んだ生地を引き出します



隙間の広い位置から引き出して
スライドさせ位置を移動する

- 25** 18ページ21番で入れ込んだマジックテープは、シート裏の引き出す隙間が非常に狭くなっています。図のように隙間の広い中央側の生地部分からマジックテープを引き出してスライドさせるようにして、生地と生地の上に位置を合わせます。



- 26** カバー外側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 27** ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 28** 18ページ24番で引き出した生地と、25番で引き出したマジックテープをシート裏の生地とマジックテープで固定します。



- 29** シートベルトバックルを固定するスナップの付いた生地をカバーの加工穴から取り出し、元通りに固定します。



- 29** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
外したパーツは背もたれカバー装着後に元に戻します。
助手席側は形状は異なり、パーツを外したことはありませんが、同様の固定方法で取り付けます。

Step4

…> 2列目背もたれ・中央アームレストの装着方法



- 1** 始めに中央のアームレストにカバーをかぶせます。
アームレスト先端のつまみ部分は、ドリンクホルダーのある反対側へ倒れるように、カバーを装着します。



- 2** カバーを半分程裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 3** アームレストのラインからずれないように全体にカバーをかぶせます。



- 4** アームレストの付け根部分でプラフックを固定します。



- 5** プラフックは板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むようにして入れ込み固定します。



- 6** プラフックを固定すると図のようになります。



- 7** ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。



- 10** カバーの加工穴から固定を外したシートベルトを取り出します。



- 8** ヘラなどを使用して生地表面にシワやたるみが残らないように、きっちりと入れ込みます。



- 11** カバー内側面のファスナーを開けます。カバーをシートのラインに合わせて全体にかぶせます。



- 9** カバーのラインを整えて、2列目中央アームレストの完成です。
アームレストは背もたれカバー装着途中、23ページ**19番**からシートに戻します。



- 12** ヘッドレストの台座を取り出します。



- 13** シートベルトの台座部分のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



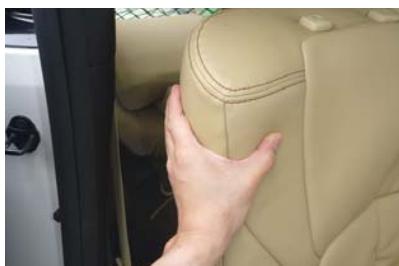
- 16** シート内側のシートとプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



- 14** 生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 17** 背もたれと座面の隙間に、生地をシートの背面へ向けて入れ込みます。



- 15** シート肩口の生地がしっかりと張るようにカバーをシートに馴染ませます。



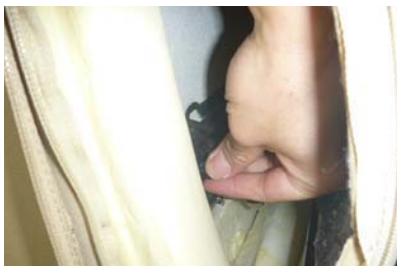
- 18** 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 19** アームレストをシートに戻します。
ボルトの先で生地を傷付けたりしないように慎重に作業を行ってください。



- 22** ソケットレンチなどを使用して、アームレストを確実に固定します。



- 20** シートの内側のボルト穴からボルトの先端が出てきたら、ナットを工具を使用せずに軽く留めます。



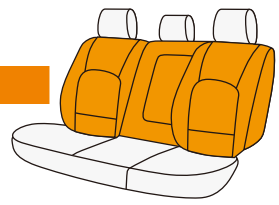
- 23** カバー装着後、すぐには生地がシートに馴染むことはありません。収納部の生地を整えて、カバー装着後アームレストをしっかり収納しておくことで、生地が馴染みシートの形状に形成されます。



- 21** アームレストを戻す際に生地が引っ張られて、収納部の生地が浮いてしまうことがあります。アームレストを確実に固定する前にアームレスト収納部上側の生地を、図のように押し込み、生地が突っ張らないように馴染ませます。



- 24** シート表皮のファスナーを閉じます。



- 25** カバーのファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 28** シートベルトをカバーの表に付いているゴムに通します。
※ゴムはカバーの色に関わらず黒色を使用しています。



- 26** ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 29** シート背面で、シートベルトを元通りに固定します。始めに外したプラスチックパーツも元通りに固定します。



- 27** 22ページ18番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



- 30** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側は側面のアームレストのみ取り外します。形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。

Step 5

…> 3列目運転席座面の装着方法

助手席側で説明を行っています



- 1 始めに外側に突起している図のシート部分にカバーをかぶせます。シートを少し斜めに跳ね上げると隙間が出来てカバーをかぶせやすくなります。シートの先端までしっかりとかぶせます。



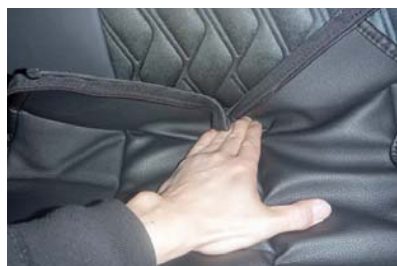
- 2 1番の部分を中心にして、シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 シートを跳ね上げて、シート裏の脚の部分をかかわすようにカバーをかぶせます。



- 4 シートを車体側に固定してカバーのラインを整えます。シートベルトバックルが収納されている位置と、カバーの加工穴を基準に合わせるようにすると、正常なラインにカバーが装着できています。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、シート背面から引き出します。



- 6 シート外側面の付け根の生地を奥へ入れ込み固定します。



- 7 シート内側の角に、生地を引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 10 シート前側のレバー部分のフチに、中のネジを緩めて生地を入れ込みます。



- 8 25ページ5番でシート背面から引き出した生地と、シート裏から引き出した生地をファスナーで固定します。生地同士を寄せ合い、ファスナーを慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 11 シートベルトバックル収納部にカバーの加工穴と位置を合わせて、フチに沿って生地を入れ込みます。入れ込んだ生地をマジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。収納部後ろ側の生地の内側に、ゴムが付いています。ゴムは2個あるシートベルトバックルを一緒に通して、バックルの根元まで入れ込みます。こうすることで、生地が浮かないように抑えられます。



- 9 シートを跳ね上げた際に車体側に固定するバックルをカバーの加工穴に通します。



- 12 カバーのラインを整えて、3列目助手席側座面の完成です。運転席側も同様に取り付けます。

Step 6

…> 3列目背もたれの装着方法

アームレスト未装備車は4番からご覧下さい。
主にアームレスト装備車の図を使用しています。



- 1** アームレストを外します。図のブラキャップをヘラなどを使用して外します。



- 4** カバーを図のように半分程裏返して、シートの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 2** こちらのアームレストを固定しているナットは、通常のソケットでは届きません。長さが40mm以上あるソケットを使用して下さい。



- 5** アームレスト装備車は、アームレストを外した後の軸部分が突起しているので、カバーをかぶせる際に慎重に扱います。生地を引っ掛けたりすると、破れたり傷が付いたりするので、ご注意下さい。



- 3** ソケットの長さが40mm以上あるものを利用して中のナットを外します。ソケットは12mmを使用します。ナットを外すとアームレストがシートから外れます。



- 6** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 7** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 10** カバーのラインを整えて、アームレスト装備車の3列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状は異なりますが、同様に取付けます。



- 8** アームレスト未装備車のカバーには、内側面下にファスナーが付いています。生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 11** カバーのラインを整えて、アームレスト未装備車の3列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状は異なりますが、同様に取付けます。



- 9** 7番で入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出して、カバーの背面下とマジックテープで固定します

Step 7

…> ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーの前後を確かめます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前側です。カバーを図のように半分程裏返して、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 4 カバーの前後についているブラックを固定します。



- 2 ヘッドレストのラインに合わせて、左右均等に引きおろし、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5 プラックは板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むようにして入れ込み固定します。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 6 ヘッドレストの裏は図のようになります。※軸回りはヘッドレストカバーが装着しやすいように、予め大きめに開いています。



- 7** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。
1列目2列目のヘッドレストは、形状は異なりますが同様に取付けます。2列目中央ヘッドレストは、下から上へかぶせる**8番**の装着方法も参考にして下さい。

3列目両サイドのヘッドレスト



- 8** 3列目両サイドのヘッドレストです。こちらは先端部分から、矢印の方向へカバーをかぶせていきます。2列目中央のヘッドレストも同様にカバーをかぶせます。



- 9** ヘッドレストのラインに合わせて、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 10** マジックテープの付いた生地を内へ寄せながら、平らなプラスチックが付いている生地のマジックテープと固定します。



- 11** 1列目と同様にブラックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 12** カバーのラインを整えて、3列目サイドヘッドレストの完成です



3列目中央ヘッドレスト

3列目中央のヘッドレストは3列目床下のデッドキボード内に収納されています。



- 13** 3列目中央のヘッドレストは、図のようにヘッドレストの角にカバーを引っ掛けて、全体にかぶせていきます。



- 14** カバーを全体にかぶせたら、ヘッドレスト裏でマジックテープを固定します。



- 15** カバーのラインを整えて、3列目中央ヘッドレストの完成です。

Step 8

…> シート側面のアームレストの装着方法

アームレストをシートに戻してカバーの装着を行います。

※シートに戻す前のアームレストにカバーを装着してしまい生地を馴染ませておくと、アームレストをシートに戻した際のカバーの装着が行いやすくなります。



- 1** アームレストを半分程裏返して、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 2** アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



- 3** 軸の部分にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。

完成図



- 4 軸部分の生地をヘラなどを使用してしっかりと入れ込みます。



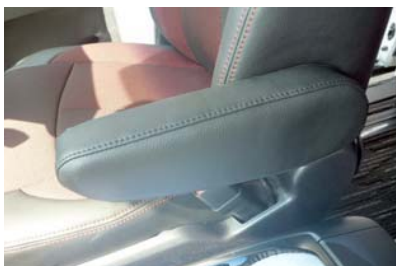
1列目・手動シート



- 5 アームレストを起こして、軸部分の生地をしっかりと入れ込みます。



2列目・アームレスト使用時



- 6 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。
形状は異なりますが、シート側面に付いている全てのアームレストは同様に取付けます。
※アームレストの軸にカバーを引っ掛ける際、生地が伸びて後ろで生地が余っている場合があります。そのような場合は、生地を前側に馴染ますようにしてカバーのラインを整えて下さい。



3列目・アームレスト未装備車

コンビニフックの加工方法

この車のコンビニフックはツメで固定されているため、これまでのネジで留められていたものより加工が非常に難しくなっています。

コンビニフックを、ご使用されるにあたりカバーに加工をされる場合は**自己責任**でお願い致します。



- 1** コンビニフックをシートから外さないままカバーの装着を行います。背もたれカバーが完全に装着出来たら、コンビニフックがある位置を指でなぞり、一回り小さめに生地印を付けます。



- 2** カバーの固定をコンビニフックが付いている側だけ外します。



- 3** 生地を浮かせた状態で、印を付けた位置をカッターなどで切り取ります。シート表皮を傷付けたりしないよう、またカバーの生地を切り過ぎないように、作業は慎重に行ってください。



- 4** 図のように生地を切り取ります。



- 5** コンビニフックのフチに生地を入れ込んでいきます。隙間が大変狭いため、ヘラなどを使用して隙間を作りながら入れ込むようにして下さい。



- 6** コンビニフックを加工穴から取り出し、カバーを元通りに固定して、コンビニフックの加工完了です。

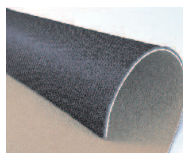


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

- 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

- シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816